

ビルマ（ミャンマー）サイクロン被災者支援完了報告

2009年7月3日
エファジャパン

2008年5月にビルマ（ミャンマー）のイラワジデルタを襲ったサイクロンの被災者は240万人以上、死者・行方不明者13万8千人超、負傷者2万人弱といわれています。



エファジャパンは、被災者救援のパートナーとして、日本のNGOブリッジ・エーシア・ジャパン（BAJ）を選び、エファジャパン集約分と自治労本部集約分の救援カンパ金を託しました。BAJを選んだ理由は、以下の通りです。

- 1) 1995年からビルマ国内で、技術協力を中心とする開発事業を実施しており、多数（約150人）のビルマ人スタッフを擁している。軍事政権下で外国人の移動が制限されても、ビルマ人スタッフが活動できる。
- 2) 国連機関との連携事業も行っているため、国連機関との調整がスムーズに行える。（通常、途上国で大規模災害が発生した場合、国連機関が緊急援助の調整を行う）
- 3) ビルマ人スタッフの多く（約6割）が専門技術をもっており、復興に直接貢献できる。
- 4) 1993年から98年にかけて、自治労現業局および国際局が、ベトナムに日本の地方自治体から提供を受けた中古パッカー車を47台送った際、BAJが協力した。

■ 緊急援助・前期復興支援 2008年5月～9月 【支援金額：10,398,313円】

1) 物資の配給

被災直後から、飲料水、食料、ろうそく、石けん、ビニールシート、衣類などを被災者に配りました。

2) モバイルワークショップ（移動修理所）

被災地の住民は、稲作を中心とする農業や漁業に従事しています。今回のサイクロンでは、多くの耕耘機や揚水ポンプ用のエンジン、またボートのエンジンが高潮のため水に浸かり使用できなくなりました。技術を持ったBAJのスタッフが被災した村々を移動しながら、合計335台のエンジンを修理しました。

3) 学校再建

モールマインジュン地区で、サイクロンの被害を受けた学校は258校、そのう

ち 146 校が全壊しました。新築、修復、トイレの再建、机・イスの支給を行いました。

筆者は、2008 年 9 月 11 日から 14 日まで、BAJ スタッフの案内で前期復興事業の現場を視察しました。

(※詳細は 2008 年 9 月 30 日付け中間報告書参照)

■後期復興支援 2008 年 10 月～2009 年 4 月 【支援金額：20,693,173 円】

2008 年 6 月に行われたアセアン・国連機関・ミャンマー政府による合同調査によって、被災地域にある約 4,000 校の公立学校の 50～60%が倒壊または破損の被害を受けていることが明らかとなりました。また、70%以上の住民が緊急に修繕・再建の必要な公共施設として学校を第一に挙げていました。

エファジャパンは、子ども達が一日も早く学校に戻り安全な環境で学べるように、小学校の再建・修復を中心とする後期復興支援を BAJ に要請しました。

1) 小学校再建（新築）

モールミヤインジュン地区のチェッシャー村とミャッターウトー村で、小学校を 1 校ずつ新築しました。チェッシャー村は、海に近く高潮の被害を受けたため、避難所としても使える 2 階建ての校舎を建設しました。

学校名	村名	支援内容	進捗
チェッシャー小学校 生徒数 200	チェッシャー	耐災性、18m x 9m 2 階建て（シェルターとしては 600 人収容可） トイレと浅井戸設置 机と椅子の配布	2009 年 1 月 31 日施工完了 2009 年 2 月 5 日に引渡し済
ミャッターウトー小学校 生徒数 96	ミャッターウトー	18m x 9m 図書館用建物の併設 トイレと浅井戸設置 机と椅子の配布	2009 年 3 月 15 日施工完了 2009 年 6 月 2 日に引渡し済



■ チェッシャー小学校校舎



■ チェッシャー小学校教室



■ ミヤッターウトー小学校校舎



■ 新築校舎引き渡し式 (2009. 6. 2)

2) 小学校修復

モールマインジュン地区のチュエチャウンイェーチョウ村とカザンチャウン村で、小学校を1校ずつ修復しました。

学校名	村名	支援内容	進捗
ダーチャ小学校 生徒数 106	チュエチャウンイェーチョウ村	ミャンマーの小学校の標準的なサイズ(60' x30')に合わせて、5mx9mの建て増し 既存部分の屋根修繕、窓とドアの取り付け、天井部分の設置 浅井戸設置	2009年3月30日施工完了 2009年6月1日に引渡し済
カザンチャウン小学校 生徒数 123	カザンチャウン村	基礎土台部分の補強と支柱の建て直し(2.7mまで鉄筋コンクリート、上部は木柱) 壁、床、及び窓部分の修復、屋根部分の修繕 トイレと浅井戸設置	2009年4月7日施工完了 2009年5月30日に引渡し済



■ ダーチャ小学校校舎



■ 修復校舎引き渡し式 (2009. 6. 1)



■ カザンチャウン小学校旧校舎



■ 支柱の建て直し



■ 校舎床・壁の修復



■ カザンチャウン小学校修復後校舎

筆者は、2009年6月1日から3日まで、後期復興支援で新築・修復した小学校4校を視察し、2校の引き渡し式に出席しました。

3) モバイルワークショップ（移動修理所）

2008年11月から2009年1月までの3カ月間、モールマインジュン地区のイエートウンゴン村で、モバイルワークショップを実施しました。水に浸かり使用できなくなった農業用・漁業用エンジン148台を修理しました。現場のメンテナンス技術を向上させるため、機械類の修理に関心がある地元の青年をアシスタントとして雇用し、技術指導を行いました。

（以上：大島芳雄）